

令和4年5月吉日

会員各位

(公社) 東京都町田市歯科医師会  
会 長 長崎敏宏  
学術担当理事 荻野隆義

### 学術講演会（救急蘇生）のお知らせ

拝啓

青葉若葉の候、会員の先生方に於かれましてはますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

平素より会務にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

臨床医なら誰にでも降りかかる可能性がある治療時偶発症に対応できるよう、  
横浜総合病院口腔外科部長の今村栄作先生に講演を賜ります。

敬具

記

日時：令和4年6月25日（土）

午後7時～（午後6時50分 配信開始）

場所：Web・会場のハイブリッド開催

【Web】Zoom 使用

【会場】歯科医師会事務所

**演題：「歯科医師のための救命処置と救急薬品の使用法」**

【抄録】

超高齢化社会において全身疾患を有する人数は増加の一途をたどっています。医科医療費(65歳以上)は全体の62.8%(2018年)を占め、加齢に伴い罹患率も増加傾向となりますが、この世代の多くの患者の歯科治療を行っているのが現状です。また疾病別医科外来受診率(65歳以上)は、1位が高血圧性疾患であり、次いで脊柱障害、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患と続きます。心疾患や高血圧性疾患は、局所麻酔中に患者の全身状態の悪化を招く危険があり特に注意が必要です。また糖尿病や自己免疫疾患、骨吸収抑制薬治療などの疾患は特に抜歯や小手術後に注意が必要です。歯科治療においてRiskを伴う疾患が、治療前の問診で確認できていれば十分な準備が出来ますが、既往歴の聴取不足や患者の申告漏れがある状況での治療時偶発症は、対処にとっても苦慮をします。今回のお話も歯科医院で行うべき救命処置と救急薬品の使用法について再確認が出来れば幸いです。

## 参加方法

### 【Web参加】希望の会員はメールにて申し込み

6月20日（月）までに下記の4項目をご記載の上、歯科医師会事務所に当日視聴する機器のメールアドレスからメールで参加申し込みください。

事務所メールアドレス smile@dent-machida.com

① 医療機関名 ②氏名 ③メールアドレス ④日歯生涯研修 IC カード番号

6月24日（金）までに参加用 URL をメールで送ります。

URL が 6/23 迄に届いていない方は歯科医師会事務所までご連絡ください。

### 【会場参加】希望の会員は電話もしくは FAX にて申し込み

6月20日（月）までに下記項目をご記入いただき歯科医師会事務所まで

FAX0427298238 返信くださるか、事務局に電話 0427268018 してお申込みください。

当日は感染予防対策（マスク着用、検温、手指消毒）をして、ご参加をお願い致します。

会場での参加を希望します。

① 医療機関名 \_\_\_\_\_

② 氏 名 \_\_\_\_\_

尚、講演終了後に会場参加の先生を対象にしたマネキンを使った実習を予定しております。

既存マネキンでの胸骨圧迫による蘇生法のほか、新規購入マネキンで各種器具を用いた気道管理、経鼻ファイバースコープの挿入等を講師に解説して頂きます。

特に「新入会員」や「救急蘇生講習会に参加した事の無い先生」は是非とも参加くださるようお願い致します。